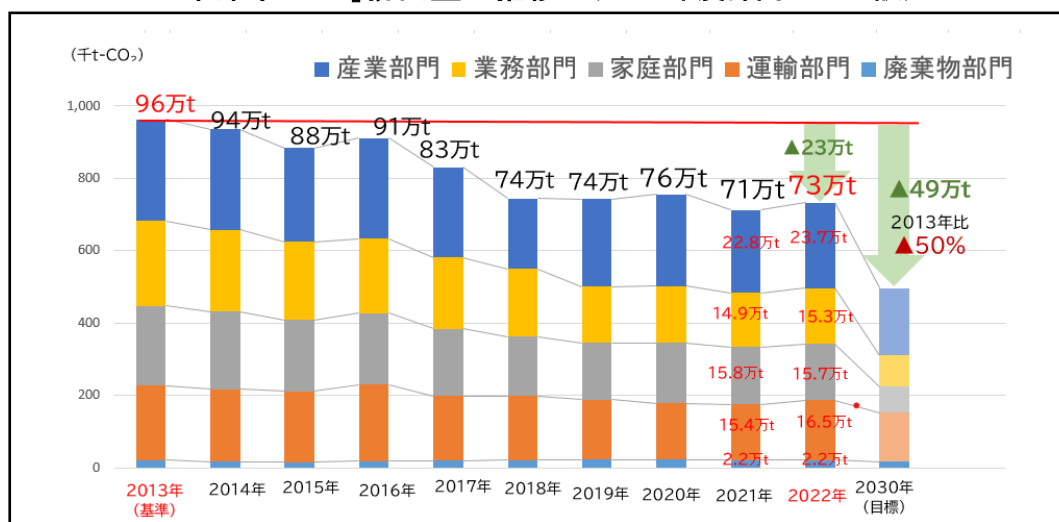


市域からの温室効果ガス（CO₂）排出量の現状

地方自治体ごとの CO₂ 排出量については、国（環境省）と滋賀県がそれぞれ算定しており、本市は県の算定データに基づき計画等を策定している。

【解説】 草津市の CO₂ 排出量の推移（2022 年度部門ごと内訳）



（県推計資料から作成）

【進捗状況に係る解説】

2022 年度は、産業部門、業務部門、運輸部門においては前年度を上回り、一方、家庭部門および廃棄物部門は、横ばいであった。

全体の進捗状況としては、2022 年度は基準年度（2013 年度）から目標年度（2030 年度）までの 17 年間に於いて 9 年目にあたり、CO₂ 排出削減量（23 万トン）は全体の削減目標量（49 万トン）の 47%であった。増加した部門ごとの前年度との比較および考察は下記のとおり。

産業部門（製造業、農林水産業、鉱業、建設業等）

……排出係数の増加による影響で、9 千 t の増加であった。

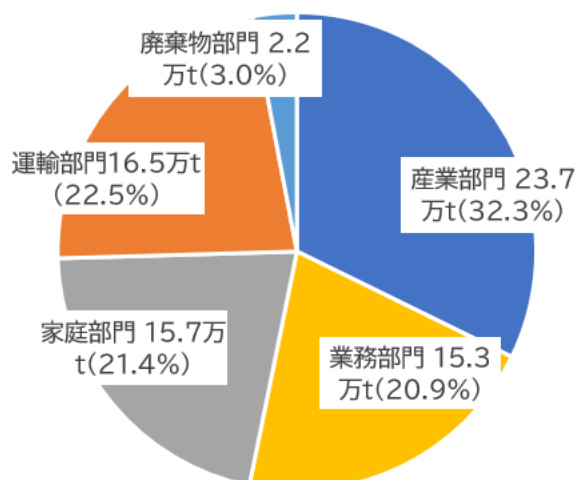
業務部門（事務所・ビル、商業・サービス施設のほか、他のいずれの部門にも帰属しないもの）

……省エネ化の取組等によりエネルギー消費量の削減が進んでいるものの、床面積は増加傾向にあり、4 千 t の増加であった。

運輸部門（輸送・運搬に係るもの）

……自動車の走行距離が増加し、1.1 万 t の増加であった。

<2022 年度の部門ごとの内訳>



県推計資料から作成

（ ）内は全体に占める割合